

コンパクトドラフトCD-900SW

取扱説明書

この度は、コンパクトドラフトCD-900SWをご購入頂きまして誠にありがとうございました。
 本品を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。
 お読みになった後は、いつでも見られる所に保存し、ご活用ください。又、本品を譲渡・貸与される時には、
 新しい使用者が安全な正しい使い方を知るために、この取扱い説明書を、製品本体と共に必ずお渡しください。

本品は、本格的な実験にも余裕のワイドな作業面を確保し、背面パッフル板式排気システムを採用しています。

◎各シンボルマークの定義

※製品を使用する前に必ずお読みください。また、警告・注意の指示は必ず守ってください。

 警告	取扱いを誤ると、重度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。
 注意	取扱いを誤ると、軽度の人身事故・製品の破損の原因となることがあります。

<設置上の安全に関する注意>

製品の設置にあたっては、安全な使用と製品の機能を十分に発揮させるため、次の項目をよくお読みの上、適切な場所をお選びください。

 警告	・近くに可燃性の固体・液体・気体のないところ。 ・周囲温度が5～35℃以内のところ。
 注意	・結露しないところ。 ・水平で安定したところ。 ・湿気の少ないところ及び本体外部に水滴のかからないところ。 ・ホコリの少ないところ及び風通しの良いところ。 ・直射日光のあたらないところ。 ・電源コードは、足を引っ掛けないようなところに取りまわしてください。

※本品は屋外で使用することはできません。

＜使用上の安全に関する注意＞



警告

- ・爆発事故・火災事故を避けるために、ドラフト内や架台内には爆発性物質・可燃性物質を絶対に入れないでください。又、それらを含んだり、付着した容器なども絶対に入れないでください。
- ・ヒーターを使用するときは、ドラフトの中央で使用し、ドラフト内の温度が、40℃を超えないようにし、ドラフト本体に熱が伝わらないようにして下さい。又、扉は全閉にはしないで下さい。
- ・ドラフト内で作業や実験を行う時は、十分な前面風速を確保するために、開口部ができるだけ小さくなるような位置に、扉を止めてください。十分な前面風速がない場合は危険です。
- ・架台内部に腐食性の物質は絶対に入れないでください。内部の電気部品が故障して重大な事故につながる恐れがあります。
- ・アースは必ず接続してください。アースを接続されないと感電事故の原因となります。
- ・架台内部の電気部品は触らないでください。感電の恐れがあります。
- ・濡れた手でスイッチ操作や、コンセントの抜き差しは行わないでください。感電の恐れがあります。
- ・改造・分解はしないでください。改造・分解したものを使用して事故がおきた場合、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・水道を接続する時は、ホースを奥まで差し込んで、確実に接続してください。又、ホースバンドも必ず使用してください。
- ・使用前は必ず、蛍光灯器具の周波数切り替えスイッチが、使用される地域の周波数に合っている事を確認してください。合っていない場合は、使用される地域の周波数に合わせてください。また、周波数の違う地域へ移転される場合も合わせ直してください。周波数が合っていないと安定器が焼損して、火災等の原因となる場合があります。
- ・本製品はファンモーターの保護として、サーマルリレーを組込んでいます。使用前は必ずサーマルリレーの設定値が、使用される地域に合っている事を確認してください。合っていない場合は、使用される地域の周波数の設定値に合わせてください。また、周波数の違う地域に移転する場合も合わせなおしてください。正しく設定しないと、保護機能が正常に働かなくなり、ファンモーターが焼損して、火災などの原因となる場合があります。



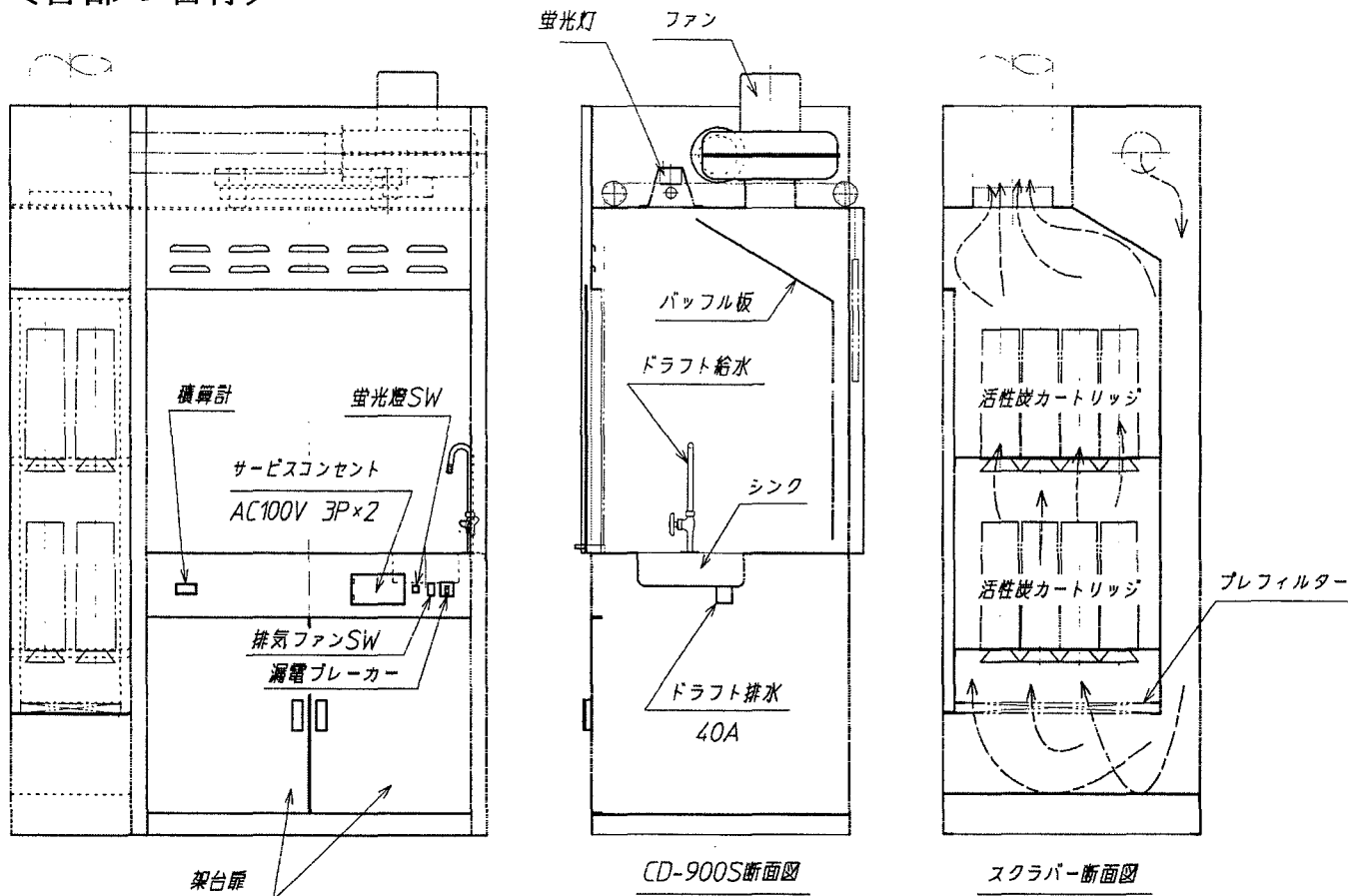


注意

- ・扉を開閉する時は、ゆっくり開閉して衝撃を与えないでください。又、手などを挟まないよう注意してください。
- ・扉のレール部分や、ローラー部分には手を触れないようにしてください。指を挟む恐れがあります。
- ・扉は破損防止と軽量化を図るため、PVC 透明板を使用しております。有機溶剤の中には直接、付着しますと、PVC 板表面にクラックや濁化など、跡が残る場合があります。使用されるときは直接、付着しないように注意して下さい。又、排気ファンは運転させドラフトとしての機能が働いている状態でご使用下さい。
- ・水道を使用する時は、シンクから水が溢れないように注意してください。
- ・本品のサービスコンセントを使用する時は、接続される機器の合計電流が 8A を越えないようにしてください。又、ファンの始動時には突入電流が流れますので、サービスコンセントに接続されている機器が ON の状態の時、過電流により漏電ブレーカーがトリップする場合がありますので、このような場合は、サービスコンセントに接続している機器の電源を OFF にしてください。
- ・有害な排液は下水に流さないようにしてください。
- ・長時間使用しない時は、漏電ブレーカーを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。又、電源プラグを抜く時は、コードを持たずに先端のプラグを持って抜いてください。
- ・積算計のリセット (RST) キーは、不用意に押さないように注意してください。リセット (RST) キーを押すと経過時間がリセットします。

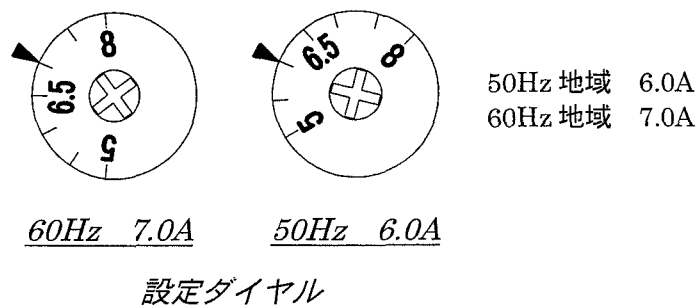


＜各部の名称＞



＜設置方法＞

1. 設置上の安全に関する注意の条件を満たす所に本品を置いてください。(スクラバーは向かって左側面に置いてください。)
2. 付属の M8 ボルト・ナットで本体とスクラバーを上部で連結、固定してください。(2箇所)
3. 付属の排気ホースをファンの吹出しジョイントと、スクラバーのダクトジョイントに差し込み、ホースバンドで固定してください。(排気ホースは架台内部にあります。)
4. 架台部の扉を開けて、排水ホースと水道ホースを、背面の取り出し口から外部に導いてください。
5. 蛍光灯器具の周波数切り替えスイッチとサーマルリレーの設定値が、使用される地域の周波数に合っていることを確認してください。合っていない場合は、セットし直してください。サーマルリレーの設定方法は、下記に示す要領で設定してください。
 - ・作業前に電源プラグがコンセントから抜けている事を確認してください。
 - ・架台内部右側面のサーマルリレーのダイヤルをプラスドライバーでまわし、図のように設定してください。



6. 電源プラグを AC100V のコンセント(15A 容量)に差し込んでください。

＜活性炭カートリッジ、プレフィルターの交換＞

活性炭カートリッジの交換方法

1. スクラバーの扉を開けてください。
2. プラスドライバーでメンテナンス蓋を止めているビスを外し、メンテナンス蓋を取り除いてください。
3. 活性炭カートリッジを左（反時計方向）に回し、取り外してください。
4. 新しい活性炭カートリッジを右（時計方向）に回し、取り付けてください。
5. メンテナンス蓋を再びビス止めて、扉を閉めてください。

プレフィルターの交換方法

1. スクラバーの扉を開けてください。
2. プラスドライバーで一番下のメンテナンス蓋を止めているビスを外し、メンテナンス蓋を取り除いてください。
3. プレフィルターを手前に引出し、新しいフィルターを差し込んでください。
4. メンテナンス蓋を再びビス止めて、扉を閉めてください。



注意

- ・メンテナンス蓋のビスは、強く締め付けてください。

＜保守・点検＞

※漏電ブレーカーのテストを月1回以上行ってください。

電源が接続されているとき、漏電ブレーカーがONの状態では漏電ブレーカーのテストボタン（赤色）を押してください。漏電ブレーカーがOFFになれば正常です。



注意

- ・漏電ブレーカーが故障した状態で使用すると、感電の恐れがあります。

・本品にはファンモーター過負荷保護装置が取り付けられていますので、ファンモーターが過負荷になった場合装置が働いて、ファンは停止します。このような場合、ファンの異常が考えられますので弊社までご相談ください。

＜お手入れについて＞

清掃は、お湯又は水を硬く絞った柔らかい布で拭いてください。

取れにくい汚れは、中性洗剤を使用し、洗剤の使用後は布で拭きとってください。



警告

- ・お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ・清掃する場合は、外装や内部に直接水をかけたりしますと漏電等の事故原因になりますので、絶対にしないでください。



注意

- ・クレンザー（磨き粉）、シンナー、灯油、酸等、及びこれに類するものは、絶対に使用しないでください。

＜仕様＞

外寸 W×D×H(mm)	1200×690×1910 ファン装着時
作業面有効内寸 W×D×H(mm)	820×600×850/660
開口間口寸法 W×H(mm)	820×650
扉	透明塩ビ板 バランスウエイト式
庫内照明	15W 蛍光灯
排気ファン能力	排気/13m ³ /min(50Hz)、16m ³ /min(60Hz) 最大静圧/135mmAg(50Hz)、195mmAg(60Hz)
前面風速	0.5m/sec 以上(1/2 開口時)
コンセント	AC100V 3P 2ケ口(防滴プレート付)
電源	AC100V 50/60Hz 15A



■商品についてのお問い合わせは
カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875
FAX  0120-700-763

受付時間：午前 9 時～12 時、午後 1 時～5 時 30 分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません